

TK - 9610SI 使用説明書

(リレーボード)

シリアルインターフェイスを採用することで配線を簡略化し、高容量でありながら実装密度を向上させたリレーボードです。

特長

- ・8 A (定格)の動作確認用LED付きリレーを8回路搭載しています。
- ・ガラスエポキシ基板を使用しておりますので、高信頼性です。
- ・小型設計(90mm×60mm)です。
- ・当社DTMF製品(TK - 9600)に直接接続できます。

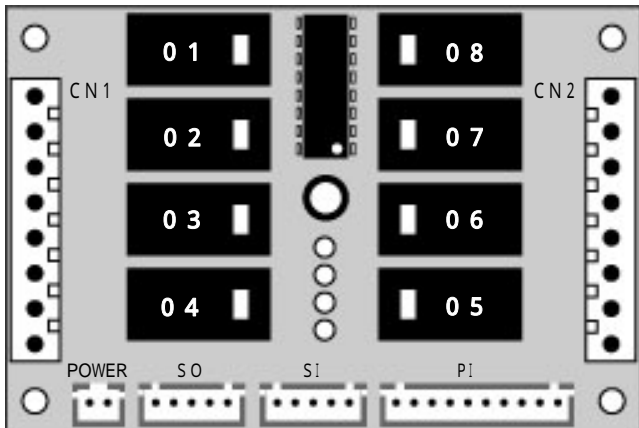
仕様

- ・電源電圧……………DC9～DC15V
- ・消費電流……………240mA(最大)
- ・出力容量……………AC250V、DC30V以下 5A(抵抗負荷)、2A(誘導負荷)
- ・寸法……………90×60(mm)

付属品

- ・基板用スペーサ…4
- ・シリアル増設コード…1
- ・リレー接点出力コネクタハウジング…2
- ・コネクタコンタクト…20(予備4個含む)

基板概観図



【図1】

コネクタについて

【表1】電源入力

POWER	ピン番号	信号名
	1	電源入力 DC9V～DC15V
	2	GND

【表2】シリアルデータ出力

SO	用途
	シリアルデータの出力で シリアルデータの入力に接続

【表3】シリアルデータ入力

SI	用途
	シリアルデータの入力で シリアルデータの出力に接続

【表4】リレーコイル出力

PI	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	1	電源出力	6	リレー05コイルドライブ出力
	2	リレー01コイルドライブ出力	7	リレー06コイルドライブ出力
	3	リレー02コイルドライブ出力	8	リレー075コイルドライブ出力
	4	リレー03コイルドライブ出力	9	リレー08コイルドライブ出力
	5	リレー04コイルドライブ出力	10	GND

【表5】 CN1、2 リレー接点出力

CN1	ピン番号	用途
	9	リレー-01の接点出力
	10	
	11	リレー-02の接点出力
	12	
	13	リレー-03の接点出力
	14	
	15	リレー-04の接点出力
	16	

CN2	ピン番号	用途
	16	リレー-08の接点出力
	15	
	14	リレー-07の接点出力
	13	
	12	リレー-06の接点出力
	11	
	10	リレー-05の接点出力
	9	

配線について

本ユニットでは、【図1】のように電源入力、シリアルデータ入・出力、リレーコイル出力、リレー接点出力を別々のコネクタに分けています。以下に、コネクタごとの配線方法について説明します。

電源入力の配線

電源はシリアル入力コネクタから供給されますので配線の必要はありません。

シリアルデータ配線

DTMFステーション(TK - 9600)の増設制御出力(CN4)と本ユニットのSIコネクタを付属のシリアル増設コードで接続します。本ユニットを複数連結する場合は、SOコネクタと次のボードのSIコネクタをシリアル増設コードで接続していきます。

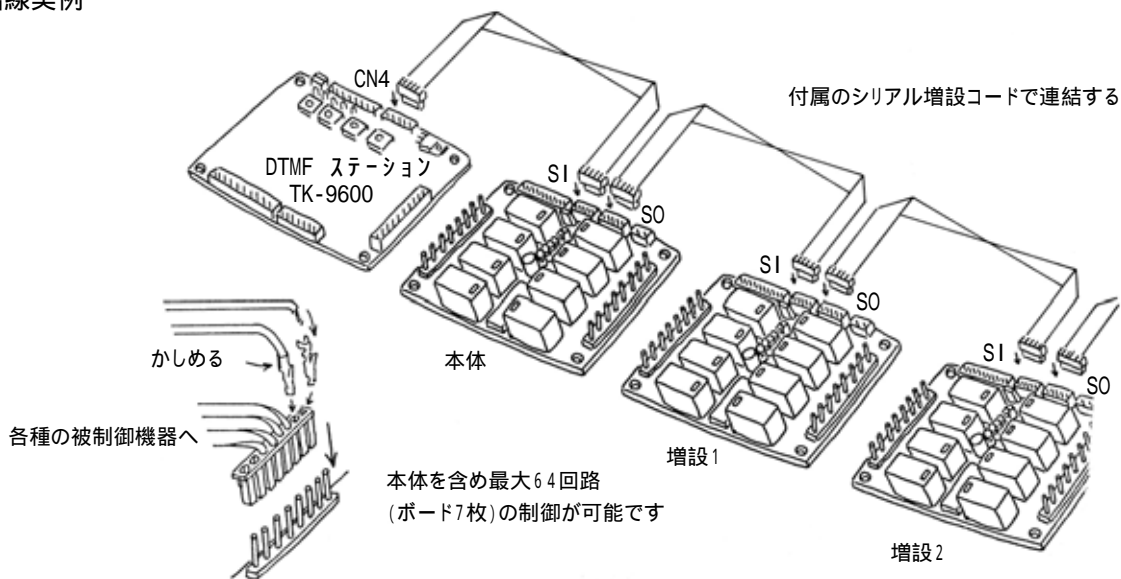
リレーコイル出力(PI)の配線

リレーコイルの端子がそのまま出力されています。外部にモニター用のLED等をつける場合などに使用することができます。

リレー接点出力の配線

制御する機器の配線に、付属のコネクタコンタクトを接続しコネクタハウジングに挿入後CN1、およびCN2に差し込みます。1ボードあたり8回路で最大7ボードまで増設でき、本体を含め最大64回路までの機器のON/OFF制御が可能です。

結線実例



【図2】